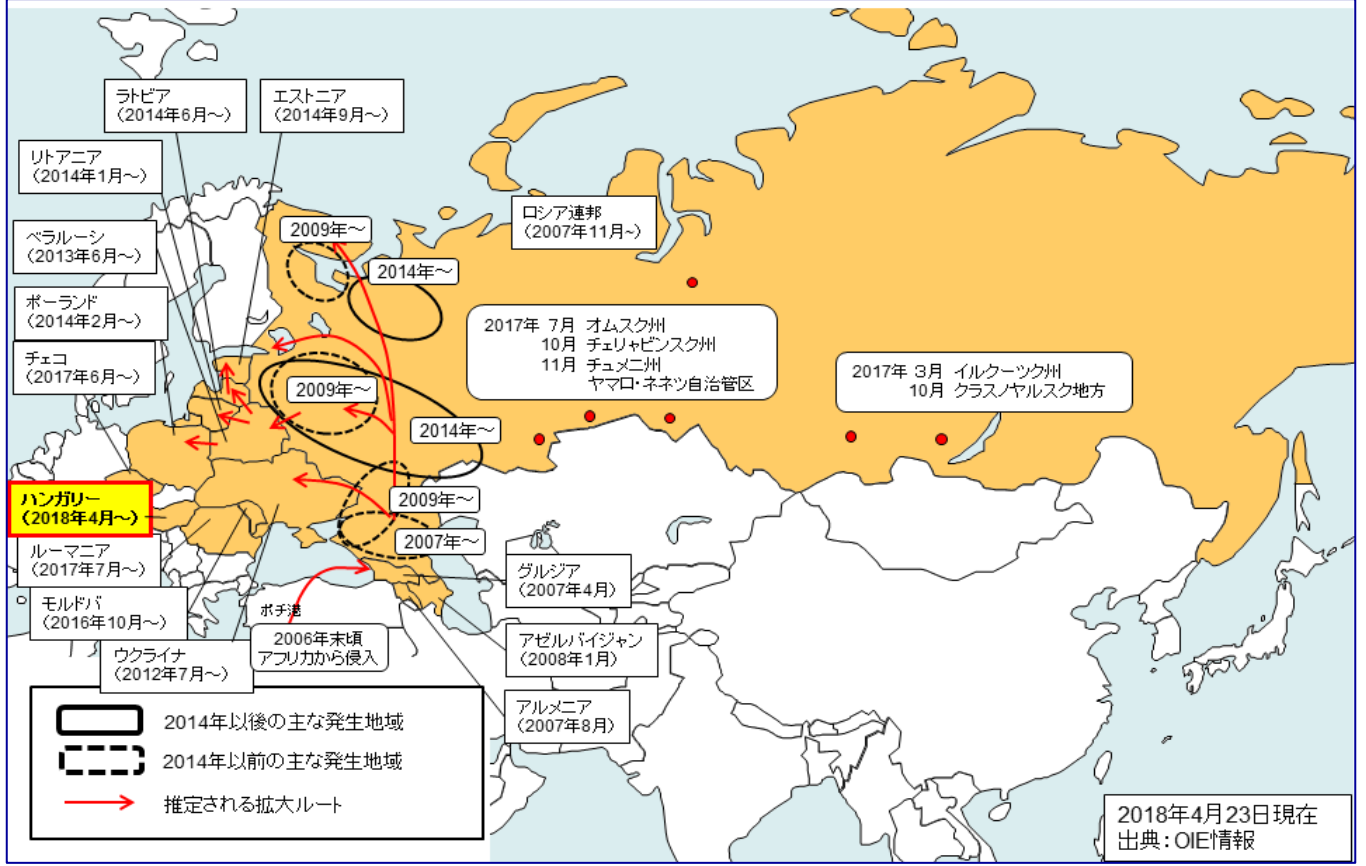


アフリカ豚コレラのまん延が欧州で拡大傾向

2007年にアフリカ豚コレラが確認されて以降、その発生が継続、発生地域が徐々に拡大しています。2017年には、ロシアのモンゴルとの国境付近で本病の発生が確認された他、2018年4月に、ハンガリーでも本病の発生が初めて確認されました！



アフリカ豚コレラの病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典：USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center



- ◆飼養衛生管理基準に基づき、生肉を含み、または含む可能性のある飼料を給与する場合には必ず加熱(70℃以上30分間以上または80℃以上3分間以上)
- ◆海外から不法に肉類を持ち込むことはできません。水際防疫にご協力願います。